PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 0200190WO	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2004/009921	International filing date (day/month/year) 12 July 2004 (12.07.2004)	Priority date (day/month/year) 23 July 2003 (23.07.2003)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant Shin-Etsu Handotai Co.,Ltd.				

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).			
2.	The state of the s			
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.			
3.	This report contains indications	relating to the following items:		
	Box No. I	Basis of the report		
	Вох №. П	Priority		
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability		
	Box No. IV	Lack of unity of invention		
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement		
	Box No. VI	Certain documents cited		
	Box No. VII	Certain defects in the international application		
	Box No. VIII	Certain observations on the international application		
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).			
		Date of issuance of this report 23 January 2006 (23.01.2006)		

Authorized officer

Telephone No. +41 22 338 90 90

Yoshiko Kuwahara

Facsimile No. +41 22 740 14 35 Form PCT/IB/373 (January 2004)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes

1211 Geneva 20, Switzerland

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関	発信人	日本国特許庁	(国際調査機関)
--------------------	-----	--------	----------

出願人代理人 好宮 幹夫			
· 好音 钟天	RECEIVED		
様しあて名	2 4 SEP 2004		
	205		
〒111-0041	国際調査機関の更解集O PCT		
東京都台東区元浅草2丁目6番4号 上野三生ビル 4F	(法施行規則第40条の2) {PCT規則43の2.1]		
•			
	発送日 (日.月.年)		
出願人又は代理人	21.9.2004		
. の書類記号 0200190WO	今後の手続きについては、下記2を参照すること。		
国際出願番号 国際出願日	優先日		
Dom (thousand the party life and	07. 2004 (日.月.年) 23. 07. 2003		
国際特許分類 (IPC)			
Int. Cl ⁷ C30B13/34, C30B29/	06		
出願人(氏名又は名称)			
信越半導体株式会社			
1. この見解書は次の内容を含む。			
★ 第 欄 見解の基礎 第 1			
第1概 優先権 第1機 新規性、進歩性又は産業上の利用可	Ability of the Open of the Ope		
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如	的性についての見解の不作成		
	新規性 進歩性Vは産業トの利用可能性についての目解		
X 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを襲付けるための文献及び説明			
第VI欄 ある種の引用文献			
□ 第117 第917 ■ 第117 ■			
第四欄 国際出願に対する意見			
- - 2. 今後の手続き			
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際課			
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解審を国際予備審査機関の見解審とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解費は国際予備審査機関の最初の見解費とみなされる。			
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か			
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当			
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる			
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を診照す	ること。		
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参	照すること。		
見解告を作成した日 04.09.2004			
	·		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 4G 8618 新居田 知生		
郵便番号100-8915	初冶山 が工		
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	留話番号 03-3581-1101 内線 6781		

	脚盆機関の兄牌音	国際出願番号 PCT/JP2004/009921		
第 I 欄 見解の基礎				
1. この見解沓は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。				
□ この見解啓は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。				
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。				
a. タイプ [配列表	,		
. [配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット [-	,		
[- コンピュータ読み取り可能な形式	·		
c. 提出時期 [出願時の国際出願に含まれる	,		
[この国際出願と共にコンピュータ読み	外取り可能な形式により提出された		
[出願後に、調査のために、この国際調	周査機関に提出された		
3.				
4. 補足意見:				
		·		
	V, *			
		·		
		·		

常吃	調本機	関の	見解珠

国際出願番号 PCT/JP2004/009921

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明			
1. 見解	٠	·	
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-4	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-4	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-4	

2. 文献及び説明

フイローティングゾーン法によってシリコン単結晶を製造する際に、結晶方位<110>から所定角度だけ傾けた結晶方位を持つ種結晶を用いてダッシュネッキング法によって製造を行うことは、国際調査報告であげられたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明ともいえないから、請求項1-4の発明は新規性、進歩性、産業上の利用可能性を有する。